

歌劇「天空の町」 別子銅山と伊庭貞剛を観る滋賀市民の会

— 結成総会 —

日時：平成26年3月16日（日）10:30～12:00

場所：びわ湖ホール（3F）研修室

【開会】

杉橋：本日はお集まりいただきありがとうございます。いよいよ5月6日、歌劇「天空の町」は、ここびわ湖ホールの大ホールで本番を迎えます。今日は、この公演を成功裏に導くため、より多くの協力者を増やすべく「『天空の町』を観る滋賀市民の会結成総会」を行ないます。まずは開会のあいさつを徳川会長にお願い致します。

徳川：春爛漫、最高のロケーションの中で本日の総会を迎えることになりました。昨年の夏から、私を始め数名のものが、この歌劇「天空の町」の後援をしようと集まり協議を続けてまいりました。各方面に呼び掛けたところ、嘉田知事も“呼びかけ人”の一人として名前を連ねていただきまして、とても嬉しく思っている次第でございます。また本日は國松前知事にご足労願ひ、応援団の一人として加わっていただきました。

またここに、前環境庁事務次官の炭谷さんから、環境庁も全面的に協力しようとの意向を賜ったことをご報告申し上げます。

この「天空の町」は伊庭貞剛を中心テーマに置いたオペラであります。伊庭貞剛は幕末から明治・大正と生き、住友の重鎮として仕事をし、別子銅山問題で苦しみ、今で言う環境問題に真っ向から取り組んだ人物で、歌劇では、禿山を緑で覆い、人々に「生きていてよかった」と感慨をもたらすストーリーが展開されます。いわば環境保全の先駆者と言えるわけで、滋賀県民は忘れてはならない人物でしょう。その生涯は謙虚で、さらに無欲であります。さらにすべての人を受け入れる大きな心の持ち主でもある。

私は、このオペラの成功によって伊庭貞剛の偉大さを知ってほしいと思うのであります。

実はわたくし、伊庭貞剛の生涯をテーマにしたオペラを作った東京オペラ協会の監督石多エドワード氏の理念にほれ込んで応援を決意いたしました。それは「ユニバーサルデザイン」という考え方であります。このオペラは専門家を中心にして年寄りや子供、障害者までを出演者として受け入れるのであります。すべての人々を巻き込んで世界平和を目指す。それが「天空の町」なのであります。

この夏にはドイツ、そしてポルトガルのリスボンの公演を予定されてい

るとのこと。実はエドワードはお母さんがスペイン系のフィリピン人で、戦時中、日本に協力したということで、戦後は戦犯として、とても苦しまれたそうなんです。このことから彼は今、フィリピンと日本とを音楽という絆によって友好関係を築こうと努力されている。エドワードは国と国をオペラという手段で結び付けようとしているのであります。

「天空の町」は環境問題と世界平和を背負ったオペラと言えるのではないのでしょうか。伊庭貞剛は滋賀県が生んだ人物。そして滋賀県は琵琶湖を擁する環境県であります。このオペラは滋賀の将来を象徴するものであり、人と人を平和という理念で結ぶものだと考えます。

あと56日で本番となります。この環境問題とユニバーサルデザインを基盤としたオペラ「天空の町」が成功するように、応援団の一人として頑張りたいと思います。皆さんの大いなるご協力をお願い致します。

杉橋：それでは続きまして、呼びかけ人の代表として国松善次前知事にご挨拶をいただきます。

國松：國松でございます。わたくしは現在、知的発達障害者のスペシャルオリンピックに参画しておりまして、そこを主導している檜山さんから「おい、来い」と引っ張られまして寄せていただいた次第です。

まず私は、オペラ「天空の町」について、今の徳川さんのお話を聞かせていただいて、なんて幸せなんだろうと感じております。このようなオペラに関わりをもたせていただけるということが幸せだと思うのであります。

わたくしは知事もやらせていただいたのですが、常々「滋賀県、環境熱心県」また「環境こだわり県」と言っておったのであります。伊庭貞剛は滋賀県出身であり、明治・大正を生き、別子銅山で環境問題と戦い自然を復元した。その人のオペラであります。きょう（後援の）運動が始まろうとしている。しかもですよ、誰もが参加できるユニバーサルだ。さらに世界平和もテーマの一角になっている。

実はわたくし、県の文化部長をやっているときに、時の知事が博物館を二つ作ると言ったんです。その時私は知事に掛け合って、音楽ホールを作るべきだ、他に負けないホールを作ってほしいと主張しました。音響はもとより、琵琶湖のロケーションを生かしたホールが滋賀県にほしいと願った。...知事時代、海外からさまざまな方が来られて「このホールで（演奏会を）させてほしい」と言われるんですね。音響とロケーションが素晴らしいとおっしゃるんです。ホールのこけら落としではイタリア・ポローニ

ヤの歌劇団を呼びました。歌劇と言うと10人や20人ではありません。それこそ大変な人数が携わっています。この人たちはみんな感動して帰られました。そして彼らから口コミでびわ湖ホールの素晴らしさが伝わって、実は海外でとても高い評価を受けておるのです。

5月6日の上演にかかわれる。本当に幸せなことです。私なりに「がんばらないかな」と思っている次第です。呼びかけ人、協力者はさらに増えるはず。そしてオペラに感動するはず。みなさん、一緒にがんばりましょう！。

杉橋：非常に具体的な熱いご挨拶をいただきました。

いよいよ総会の中核に入っています。

それではただいまより、本日お集まりの方々お一人ずつ自己紹介をいただきたく思います。

【参加者全員自己紹介】（所属・名前・人によってコメント）

☆ コメント代表...橋本浩明すぎやまの家理事長「今日、会場正面に掲げられている垂れ幕（カラフルな色彩と清楚なデザインで『歌劇 天空の町を観る滋賀市民の会結成総会』と書かれている。縦書き3メートル、幅1m弱）は私が作ったものです。もしもこのようなご用命がありましたらいつでもご注文ください」

【別子銅山と伊庭貞剛の話】

☆ 小路氏により「伊庭貞剛のプロフィール」ならびに「別子銅山と別子大水害」についてのプレゼンテーションが行われた（パワーポインターを使用）。

（約15分）

【滋賀公演出演メンバーによる歌唱（コーラス）デモンストレーション】

（11:17）

出演メンバー10人（伴奏は簡易電気ピアノ）により歌劇のストーリーを追いながら歌・合唱の披露がなされた。衣装は本番に近いものを着用。

大島：きょうは滋賀と大阪と愛媛の混合メンバーで歌わせていただきます。本番は（すでにステージを経験したことのあるメンバーが）全国からやってくる予定です。練習では（オペラの舞台）初体験の方もいらっしゃるの、歌唱の初期訓練から始まり、次に振付、そしてセリフと、だんだん難しくなってきたところで、初めての人（滋賀メンバー）は今、パニックに

なりかけているところです。先輩（経験者）に混じって滋賀の方々（4名）にも入っていただきますが、練習を積み重ねればどんどん上手になってくるはずで、今日はその途中経過だと見ていただければ幸いです。5曲を演奏したいと思いますが、全部ではなくてさわりだけを聴いていただきます。

石多：今日、プロ（の音楽家）は来ていません。アマチュアばかりです。その素人だけで、どこまで音楽がやれるか、今日はやってみたいと思います。みなさん衣装を着けていますが、これは高嶺薔薇（タカネイバラ...里山の樹木／夏）をイメージしています。男性は、これは人間ではなく樹木で（笑）...、子供たちはトンボや動物になっています。

☆ 既述の要領で歌劇のあらすじをたどりながら『天空の町』より「風がとぶ朝」「青空高く」「ダンザンバン」「こんなに空が」「お天道様」「日本のますらお（いいおとこってどんなひと？）」などの曲を披露（せりふと舞踊も）。

檜山：楽しく1時間を過ごしました。このように具体的に（舞台の）姿も見せていただきました。ぜひ大勢の人たちに声をかけて、とりあえずは1000人の客席を埋めたいと思います。今30人の応援団が出来上がりました。今後「天空の町」は滋賀県で2回3回と公演を重ねてゆくでしょう。でも今回の第一回目が大事です。さまざまな取り組みによって大勢の人に来ていただきましょう。

杉橋：目の前で見ていただくと、素晴らしい迫力でした。このオペラのチケットは研修室の入り口に準備してございますので、ご入用の方、チケット販売にご協力いただける方は是非お預かりいただきたいと思います。

では最後に東京オペラ協会の石多監督より、ひとことご挨拶をいただきます。

石多：先ほど来、国際交流という言葉が多く聞かれるのですが、実は一昨年、ドイツに参りました時に、ミュンヘン国立歌劇場の指揮者と知り合い、「僕はこんな仕事をしてるんだ」と、いろいろ話をしていましたら、とても興味を持ってくれまして、今回の公演では、その指揮者が振って（指揮して）くれることになりました。日本人（の指揮者）が西洋の曲を振ることはあっても、外国の指揮者が日本人作曲家の歌劇を振るということはずがないことで、国際交流という点からいって新しい視野が広がったという感じがしているところです。

杉橋：では再度申し上げますが、入口の所にチケットと、またチケットが購入できる場所・連絡先などを用意いたしておりますのでどうぞご利用ください。では終了とさせていただきます。ありがとうございました。

(11:45)

☆取材新聞社は中日新聞と日本産経新聞社の2社。主に檜山氏と石多監督が対応。

乗光氏作 サイボウズ揭示 中日新聞3/17



伊庭貞剛の生涯 オペラで描く

近江八幡市出身の実業家伊庭貞剛(一八四七―一九二六年)の生涯を描いたオペラ「天空の町」が五月六日、大津市打出演のびわ湖ホールで上演されることになり、チケット販売や追加出演者募集などをする「市民の会呼びかけ人会」の発足式が十六日、同所であった。

呼びかけ人は嘉田由紀子知事ら五十人。そのうち松善次前知事らが出席した。貞剛役を演じる石多エドワードさん(左)が、貞剛が愛媛県の別子銅山の

オペラの一場面を披露する出演者=大津市で

大津で5月上演 市民の会発足、出演募る

鉦毒問題解消のため、植林や地元との協議に粘り強く臨んだことなどを紹介。オペラを上演する東京オペラ協会の会員らが、合唱や踊りの場面を本番さながらに演じた。

協会は一般愛好家や障害者も舞台に参加できる作品作りをしており、今回もこれまでに幼児から九十歳までの男女四十人の出演が決まった。今後も出演者を募集する。

障害者福祉施設近江学園(湖南市)の卒園生深尾浩志さん(三)も出演を決め「舞台に出てダンスをしたいので楽しみ」と笑顔を見せた。

チケット購入や出演の問い合わせは市民の会大津事務局の檜山真理さん(電090(4036)4510)へ。

(山内晴信)

2014.3.17 中日NP 記者

チケットは、前売
特別席 7000円
指定席 5000円
自由席 3000円

のりぞろぞろ×TVZ!
jinendou@nifty.com

情報のシェアも
お願いしてまいります。

